

2022年1月24日

平山大使のセントビンセント及びグレナディーン諸島訪問
(1月17日～19日)

1月17日～19日、平山大使はセントビンセント及びグレナディーン諸島を訪問し、ドーガン総督、ゴンザルベス首相、ピータース外務担当国務大臣、シーザー農業・林業・漁業・地方改革・産業・労働大臣と会談し、水産分野、災害危機管理、気候変動、コロナ禍対策などを中心にした長きにわたる両国の友好関係を更に強化していくことで一致した他、国際的な共通の課題等を協議しました。また、2月中旬に任期を終え離任する平山大使は、3年間に亘るカリブ地域での勤務の際の協力と支援に謝辞を述べました。

また、21年4月のラ・スフリエール火山噴火被害への緊急無償資金協力として実施している国際移住機関（IOM）、世界食糧計画（WFP）の事業現場を視察し、関係機関等からプロジェクトの進捗状況に関する説明を受けました。昨年7月13日、日本政府は、セントビンセント及びグレナディーン諸島で発生した火山噴火被害を受けた人々に対する支援として、158万ドル（約1億7,000万円）の緊急無償資金協力を実施することを決定し、IOM及びWFPを通じ、避難所の改修や食料等の支援を実施しています。

1月18日、平山大使は、我が国の水産分野の無償資金協力によって建設及び改修された、セントビンセント島の首都キングスタウンのリトル・トーキョーと呼ばれる地域にある魚市場を視察しました。

セントビンセント及びグレナディーン諸島訪問の様子



ドーガン総督への表敬訪問（左）



ゴンザルベス首相、ピータース外務担当国务大臣との会談（右）



シーザー農業・林業・漁業・地方改革・産業・労働大臣との会談（左）



国際移住機関（IOM）、世界食糧計画（WFP）及び関連機関との会議（右）





事業現場の視察



リトル・トーキョーにあるキングスタウン魚市場